

平成 24 年度

広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会

シラバス

1) 視覚の理解と視覚障害教育

平成 24 年度広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会に係る講義内容（シラバス）

開設科目（授業科目）名	視覚の理解と視覚障害教育（H24 認定講習）	
講師名	広島大学大学院教育学研究科 准教授 氏間和仁	
開講期日	平成 25 年 1 月 12 日～1 月 13 日	
講 義 内 容		
視覚情報処理について解剖・生理・光学・心理の側面から理解を深め、それらの知識に基づいて視覚障害者の教育的支援について、教材作成、視覚補助具選定等の方法を習得する。		
一 日 目	8:50-9:00	オリエンテーション
	講義①② (9:00-10:30)	視覚障害理解に必要な光学 視覚器の構造と機能、視覚補助具の理解に求められる光学について教材を用いて体験的に学びます。
	講義③④ (10:40-12:10)	視覚器の構造と機能 眼疾患、教育的配慮の理解に求められる眼球・視路・視中枢について学びます。
	講義⑤⑥ (13:00-14:30)	眼疾患と教育的配慮 特別支援学校で多く遭遇する眼疾患をとりあげ、眼疾の概要と教育的配慮について学びます。
	講義⑦⑧ (14:40-16:10)	弱視の見え方に応じた支援法 弱視の見え方を 4 つ挙げ、拡大法とコントラスト増強法を中心に具体例と共に学びます。
二 日 目	講義⑨⑩ (8:40-10:10)	視覚制限と発達・知覚・認知 視覚制限が発達に及ぼす影響、視野狭窄が奥行き知覚に及ぼす影響、ぼやけが文字知覚に及ぼす影響などについて研究成果に基づいて学びます。
	講義⑪⑫ (10:20-11:50)	光学的補助具の選定と訓練 教育的視機能評価から拡大鏡、単眼鏡の選定までの過程及び訓練の基本的な要素について学びます。
	講義⑬⑭ (12:40-14:10)	視覚障害教育における漢字学習 視覚障害教育における漢字学習について、全盲の場合と、弱視の場合に分けて学びます。
	講義⑮ (14:20-15:05)	視覚障害教育における IT 活用 視覚障害者にとっての IT 活用の重要性について、全盲と弱視の場合について学びます。
	試験 (15:15-16:00)	

【携行品】

30cm定規、電卓（専用機）を持参してください。

2) 点字の理論と指導法の実際

平成 24 年度広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会に係る講義内容（シラバス）

開設科目（授業科目）名	点字の理論と指導法の実際（H24 認定講習）	
講師名	広島大学大学院教育学研究科 准教授 牟田口辰己	
開講期日	平成 25 年 1 月 5 日～1 月 6 日	
講 義 内 容		
視覚障害のある児童生徒の理解と点字の仕組みの理解とその指導方法の習得及びそれらの指導と教育課程の関係についての知識を習得する。		
一 日 目	8:50-9:00	オリエンテーション
	講義①② (9:00-10:30)	点字を常用文字とする盲児童生徒の教育課程と点字の概要： 学習指導要領各教科に示された配慮事項を解説し、点字発明以前の 盲人用文字、ルイ・ブライユによる点字の発明、石川倉次による日本 点字翻案の経緯について学びます。
	講義③④ (10:40-12:10)	六点点字の構成と 50 音のしくみ： ブライユ点字配列と日本点字の構成を解説し、清音、濁音、半濁音、 拗音、拗濁音、特殊音について学びます。
	講義⑤⑥ (13:00-14:30)	点字の分かち書き： 分かち書きの原則となる自立語と付属語、さらに符号類について学 びます。
	講義⑦⑧ (14:40-16:10)	点字盤による文章の書き方： 点字書字用具のいろいろを紹介し、携帯点字盤の使い方を学びます。
二 日 目	講義⑨⑩ (8:40-10:10)	いろいろな点字指導法： 文部科学省著作小学部国語点字教科書における指導法とその他の点 字指導法を学びます。
	講義⑪⑫ (10:20-11:50)	盲児の点字読速度の発達： 盲児の点字読速度発達の特徴の特徴と読速度を高める指導の留意点 について学びます。
	講義⑬⑭ (12:40-14:10)	中途失明者に対する点字触読指導： 我が国の視覚障害リハビリテーションセンターにおける指導法を解 説し、盲児に対する指導法との相違について学びます。
	講義⑮ (14:20-15:05)	文部科学省著作点字教科書編集と全国学力テスト点字問題の作成： 文部科学省著作点字教科書編集の方法と点字によるテスト問題作成 の配慮について学びます。
	試験 (15:15-16:00)	試験は、墨点字（黒い点で示した点字）で出題します。解答は普通 の文字（墨字）です。簡単な文章は目で読めるようにして、講義に臨 んでください。

【テキストと点字盤】

本講義では、以下のものを使用します。

- 点字学習を支援する会編 「点訳便利帳 2008 年版」 1,050 円(見込み)
- 携帯用点字盤 1,150 円(見込み)

お持ちでない方には、まとめて購入いたしますので、申込時にその旨ご記入ください。なお、テキストは「点訳の手引き」など別のものでも構いません。

3) 知的障害の理解と指導法の実際

平成 24 年度広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会に係る講義内容（シラバス）

開設科目（授業科目）名	知的障害の理解と指導法の実際（H24 認定講習）	
講師名	広島大学大学院教育学研究科 教授 若松昭彦	
開講期日	平成 24 年 12 月 22 日～12 月 23 日	
講 義 内 容		
知的障害のある児童生徒の認知特性や実態把握の方法について理解を深め、一人一人の教育的ニーズに応じた教材作成、指導方法等の実践的知識を習得する。		
一 日 目	8:30-8:40	オリエンテーション
	講義①② (8:40-10:10)	知的障害児の認知特性と対象児童についての情報提供： 知的障害児の認知特性について解説し、実習協力児童の実態把握の結果や日常場面の様子に関する情報提供を行います。
	演習<1><2> (10:20-11:50)	学習課題の検討・作成 前時の講義内容や児童に関する情報を基に各グループで協議を行い、学習課題の検討・作成や学習環境の準備を行います。
	実習(1)(2)(3)(4) (12:40-15:40)	学習課題の実習： 協力児童に対して学習課題を実施し、その結果に基づいて修正した課題を実施・評価します。また、児童のコミュニケーション・サンプル採取や、保護者からの聞き取りを行います。
	演習<3><4> (15:50-17:20)	グループ・全体協議： 学習課題の内容、指導方法、場面設定などに関してグループで討議を行い、その結果を全体会で報告して協議を行います。
二 日 目	講義③④ (8:40-10:10)	コミュニケーション、家事・身辺自立課題について： コミュニケーション・サンプルの分析方法、コミュニケーション、家事・身辺自立課題の設定や指導環境の準備等について講義します。
	演習<5><6> (10:20-11:50)	コミュニケーション、家事・身辺自立課題の検討・作成： 前時の講義内容や児童に関する情報を基に各グループで協議を行い、課題の検討・作成や学習環境の準備を行います。
	実習(5)(6)(7)(8) (12:40-15:40)	コミュニケーション、家事・身辺自立課題の実習： 協力児童に対してコミュニケーション課題を実施し、修正した課題の再実施・評価を行います。また、家事・身辺自立課題についても同様に実施します。
	講義⑤ (15:50-16:35)	知的障害児の指導について： 本講義全体の経過を踏まえて、課題の内容、指導方法、場面設定などに関するまとめの講義を行います。
	試験 (16:45-17:30)	